

どんな状況でも本人中心の支援を！

— 支援の本質を問う ・ 現場からの発信 —

障害者自立支援法は不十分な障害程度区分、就労中心の考え方、さらに利用者負担など計り知れない不利益を利用者に与えています。またこの法律の経過は財源論に基づいており、利用者の立場から何が必要なのかといった議論がほとんどなされていません。「自己決定」「本人主体」「エンパワーメント」といった言葉はどこへ行ってしまったのでしょうか。

こんな時期だからこそ支援の本質に立ち返り、本人主体の支援についてもう一度問い直してみませんか。

2007年12月8日(土) 10:00~15:30 (受付9:30~)

会場：大阪成蹊短期大学(地図は裏面)

<第1部>

- ・開会挨拶 赤塚光子 (当会会長 立教大学教授) 10:00~10:10
- ・シンポジウム 「本人中心の支援とは」 10:10~12:10
 - シンポジスト
 - 清水 明彦 (のまネット西宮 所長) : 西宮市
 - 中西 昌哉 (ベテスタの家 所長) : 京都市
 - 加藤 啓一郎 (地域生活支援センター風の輪 所長) : 大阪市
 - 岩崎 隆彦 (淡路こども園 園長) : 大阪市
 - コーディネーター
 - 松端 克文 (桃山学院大学准教授)

— 休憩 — (昼食は大学内地下食堂をご利用いただけます)

<第2部>

- ・実践を通して「本人中心支援の具体的展開」 13:00~15:30
 - 青葉園 : 粟生 史子 「このまちで私らしく暮らすために」
 - ベテスタの家 : 倉本 輝一 「支援をつなげて体験する機会を保障する」
— ケアホームに入居されているOさんが暮らしを選択される場面を通して —
 - 風の子そだち園 : 竹内 佐奈恵 「私の一歩 ここから始まる」
 - まとめ : 松端 克文

参加費

一般：1,000円 学生：500円
(当日 会場受付にてお支払い下さい)


定員

300人(先着順)

対象

障害児・者の支援に携わる人(福祉・教育・医療関係等)
当事者、家族、テーマに関心をお持ちの方

参加申込み

- FAX : 06-6327-7716
※裏面の申込み用紙をご利用下さい
- ホームページ : http://www6.ocn.ne.jp/~kazenowa/i_support/ 
(水仙福祉会 アイ・サポート研究所)

主催：特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会(サポート研)

共催：大阪成蹊短期大学

後援：大阪知的障害者育成会、大阪知的障害者福祉協会(予定)、大阪市障害児・者施設連絡協議会(予定)

サポート研 関西セミナー

連絡・お問い合わせ

水仙福祉会 アイ・サポート研究所 (担当: 岩崎)

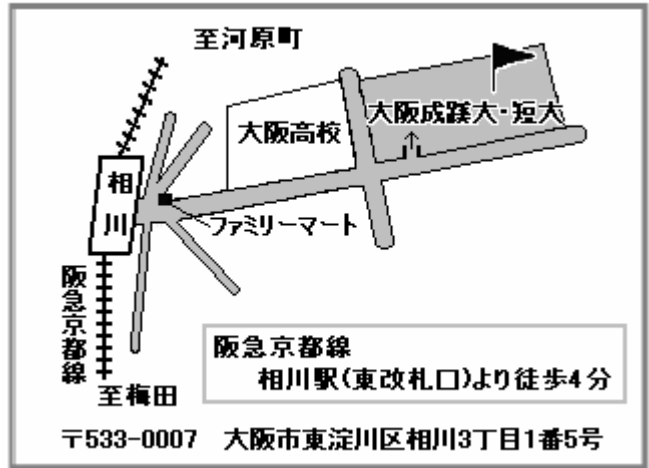
TEL: 06-6327-7715

(地域生活支援センター風の輪内)

メールアドレス:

isupport@poppy.ocn.ne.jp

【会場地図】



「どんな状況でも本人中心の支援を！」参加申込み用紙

※印は必ずご記入下さい

なお、お寄せいただいた個人情報は適正に管理し、このセミナーの連絡のみに使用いたします。

| | |
|---------------------------|---|
| フリガナ | |
| ※お名前 | |
| ※ ご連絡先 どちらかに ご記入下さい | <電話番号> |
| | <メールアドレス> |
| ご住所 | 〒 - |
| 所属 | 当事者 障害者の方のご家族 <主な利用施設・機関等> |
| ○で囲んで 下さい | 施設・団体職員 教師 医師 看護師 学生 その他 <お勤め先・学校名等> |

懇親会について

セミナー終了後、参加者を対象に懇親会を行います

<時間> 16:00~17:30

<場所> 大阪成蹊短期大学 地下食堂

<参加費> 3,000円

懇親会に 参加する ・ 参加しない

どちらかに○をつけてください

FAX: 06-6327-7716

